

た か つ は つ
高津発

に ほ ん か い か く
日本改革!

ほりぞえ健^{けん}ニュース

2007年5月号 No.42

民主党川崎市議団 ほりぞえ健事務所

〒213-0033

川崎市高津区下作延266 エスビル4階

(溝の口駅徒歩2分 高津区役所隣り)

電話 044-855-1479 FAX 044-855-1489

http://www.horizoe.com

E-mail: horiken@horizoe.com

民主党 市議会最大会派に ～統一地方選挙特集

川崎市議会議員 ほりぞえ健

(事務局)

4月8日の川崎市議会議員選挙で、民主党は最大会派になりましたね。今回の選挙結果をどのように評価していますか。

(堀添)

民主党は20名の候補者のうち18名が当選しました。自民党は23名の候補者のうち17名が当選し、選挙後に無所属の方が1名加わったことにより、18名となりました。

同数とはいえ、市議会において最大会派になったことは、やはり今後の市政運営を考えても、大きな意味があったと思います。

選挙区ごとに特徴はありますが、全体としてみれば、民主党が自民党に競り勝ったといえるのではないのでしょうか。

たとえば、民主党の候補者は2名が落選したのに対し、自民党は6名落選していますが、さらに最下位当選者を見ると、7区中5区が自民党、公明党と共産党が1名ずつ、となっています。単純に定数が7少なかったら、民主党は18名のままですが、自民党はさらに5名減って12名(無所属を加えて13名)と、公認候補者の半分が落選したことになります。

(事務局)

自民党にとって厳しい結果となったのは、やはり公認候補者を大量に擁立したことによる「共倒れ」のせいでしょうか。

(堀添)

確かに、結果論となりますが、候補者の絞込みをしていれば、もう少し当選者数の上積みができ



- 1963(昭和38)年2月6日、高津区に生まれ、高津小学校出身。桐朋中学、高校を経て東京工業大学を卒業。
- 東京都三鷹市で9年間、地域情報化やプライバシー保護等に従事。
- セブーンイレブン本部での情報システム構築をはじめ、ITを活用したシステムづくりに従事。
- 2003年4月、川崎市議会議員に初当選。
- 2007年4月、同2期目当選。
- 川崎マニフェスト検討委員。
- 経済産業省 システム監査技術者
- 妻と長女(高校2年)の3人家族



たかもしれません。しかし、データを細かく見ると、そのことよりも、むしろ全体として民主党の候補者に対する支持が高まったことの方が大きな影響を与えたと考えています。

そもそも、前回(平成15年)の選挙でも、自民党は21名の候補者を擁立していますので、今回が極端に候補者が多かった訳ではありません。しかし、当選者数は前回が19名(当選率90.5%)だったのが、今回は17名(77.3%)へと激減しました。

市議会議員選挙の場合、候補者数が増えれば当然全体としての総得票数も増えます。しかし候補者一人当たりの得票数で見ると、自民党は前回が6418票だったのが、今回は6258票へと減らしているのに対し、民主党の候補者は、前回7177票を7348票へと上積みしています。

この差が、結果として当選者数に大きな違いを生み出したのだといえるのではないのでしょうか。

(事務局)

今回の選挙結果は、民主党の勝利と評価できると思いますが、勝因は何でしょうか。

(堀添)

私は、主に3つの要因があったと思います。まず第一が、知事選挙との関連です。今回の選挙で松沢知事は、全体の2/3という大量得票を得て再選を果たされました。松沢知事は党派を超えた取り組みをされていたので、このことが直接民主党の得票につながったわけではありませんが、しかし、結果的には民主党の候補者に有利となったケースが多かったと思います。

第二は、国政の影響です。この間、税金や社会保険料の負担がどんどん重くなってきています。負担が重くなること自体に対する批判というよりは、税金の無駄遣いが放置されたままで、取りやすいところからお金をとるのはおかしいではないか、ということだと思います。

第三は、マニフェストの効果です。私たちは、昨年3月から約1年間をかけて、「川崎マニフェスト2007」をとりまとめ、全候補者が同一の政策を掲げて、選挙に臨みました。9日間という限られた選挙戦の中で、どれだけ具体的に伝えることができたのか、まだまだ改善すべき点も多くありましたが、しかし

政策を軸とした選挙に変えていかなければならない、という私たちの主張や姿勢は、少なくとも有権者に理解していただけたのではないかと思います。

(事務局)

これからの4年間の課題について、どのように考えていますか。

(堀添)

やはり、マニフェストに基づく政策の実現、ということに尽きると思います。私たちは、100項目の政策を選挙の前に示しました。とくに重点と位置づけた10の施策に関しては、選挙中に10万部以上ものちらしを配布し、街頭演説でも徹底的に訴えてきました。私自身、こうしたマニフェストに基づく選挙を行い、当選した以上、これらの政策の実現に対しては全力で取り組む決意です。

そのためにも「川崎マニフェスト2007」の進捗管理の仕組みをつくる必要があると考えています。首長のマニフェストと比べ難しい部分もありますが、少なくとも①「現状と課題」をどのように認識しているのか、②解決策として示した「マニフェスト」をどのように実現するのか、③実際の取り組みの状況と結果はどうだったのか、④その結果をどのように評価するのか、そして最後に、⑤政策の実現によって課題は解決したか、という5つの観点により、できるだけ具体的に評価をし、公表していかなければならないと考えています。まずは議員団の内部でしっかりと評価ができればなりません、できれば市民参加なども工夫して実現したいですね。

(事務局)

ありがとうございました。

(2007年4月29日)

川崎市議会議員選挙(高津区選挙区)

| | 候補者 | 党派 | 得票数 |
|---|--------|-----|-------|
| 当 | 青木のりお | 自民 | 7,954 |
| 当 | ごとう晶一 | 公明 | 7,711 |
| 当 | いのまた美恵 | 無所属 | 6,925 |
| 当 | 岡村テル子 | 公明 | 6,450 |
| 当 | かすや葉子 | 民主 | 6,190 |
| 当 | 石田和子 | 共産 | 5,887 |
| 当 | ほりぞえ健 | 民主 | 5,650 |
| 当 | いわくま千尋 | 民主 | 5,530 |
| 当 | 大島あきら | 自民 | 5,091 |
| 次 | 伊藤ひろたか | 自民 | 4,522 |
| 落 | かもした元 | 共産 | 4,086 |
| 落 | 斉藤正彦 | 自民 | 3,979 |
| 落 | 石村さなえ | ネット | 2,980 |

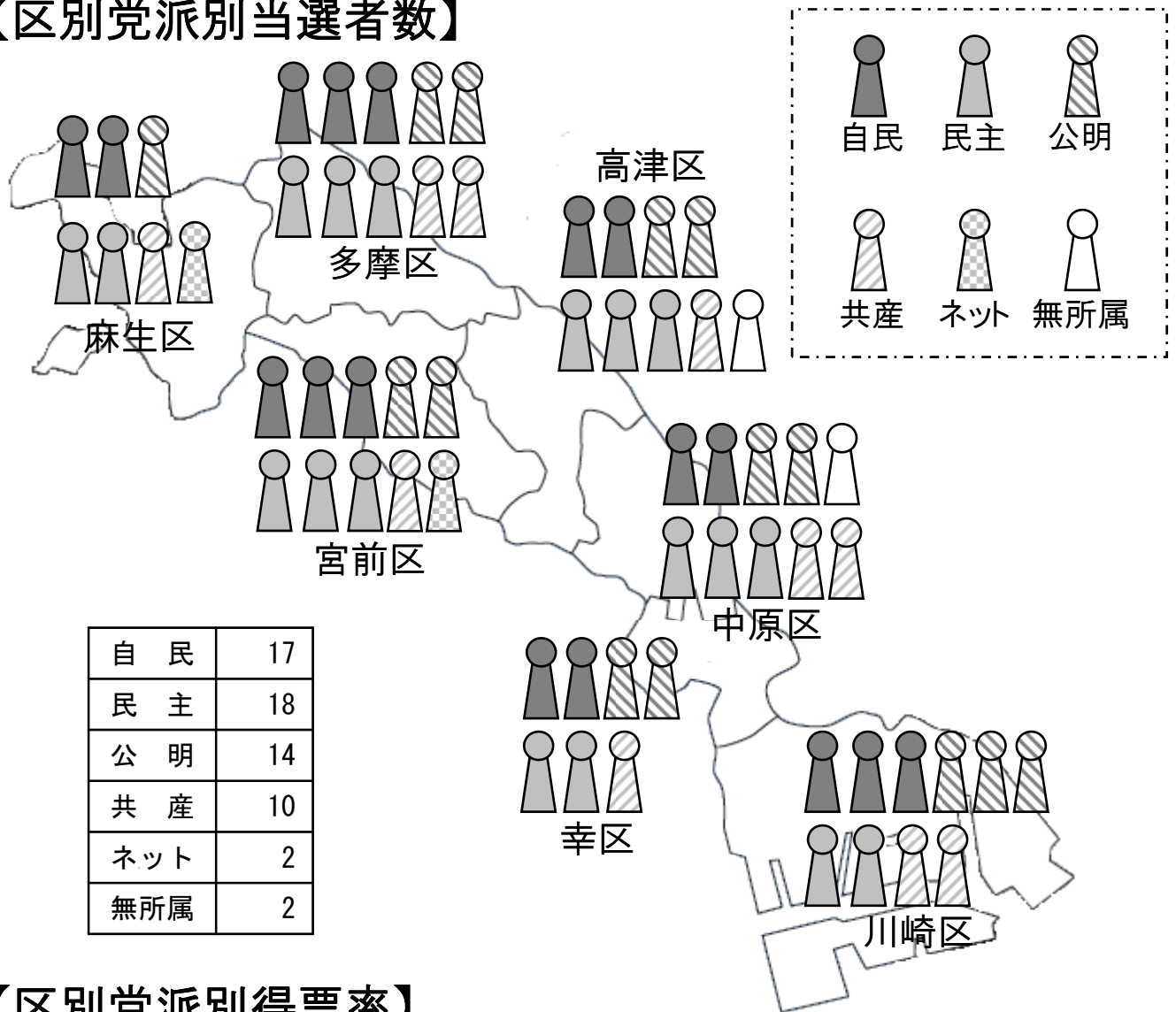
神奈川県知事選挙(全県/高津区)

| | 候補者 | 全県 | 区内 |
|---|--------|-----------|--------|
| 当 | 松沢しげふみ | 2,008,335 | 45,583 |
| 落 | 杉野正 | 627,607 | 15,891 |
| 落 | かもい洋子 | 561,906 | 16,270 |

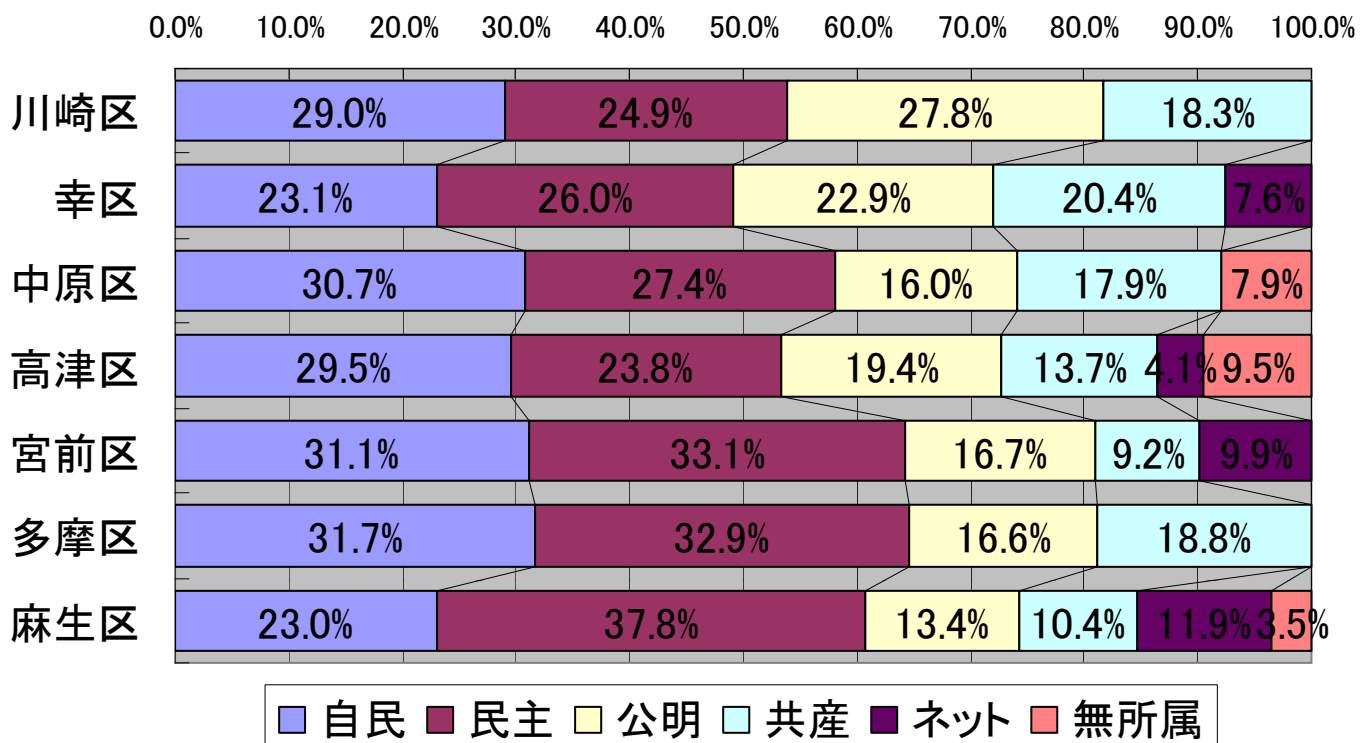
神奈川県議会議員選挙(高津区選挙区)

| | 候補者 | 党派 | 得票数 |
|---|-------|-----|--------|
| 当 | 小川くにこ | 無所属 | 28,518 |
| 当 | 斉藤ゆうき | 無所属 | 21,235 |
| 落 | ほそや啓一 | 民主 | 20,874 |

【区別党派別当選者数】



【区別党派別得票率】



選挙収支報告 (平成19年4月24日提出分まで)

| | 種別 | 金額 | 摘要 |
|------|-----|-------------|--------------------|
| 収入の部 | 寄附金 | 2,140,000 円 | 個人及びほりぞえ健後援会からのもの。 |
| | | 600,000 円 | 政党支部からのもの。 |
| | 計 | 2,740,000 円 | |
| 支出の部 | 人件費 | 960,000 円 | 事務員及び車上運動員 のべ70日分。 |
| | 家屋費 | 39,125 円 | 移動事務所及び電話設置費。 |
| | 通信費 | 32,683 円 | 電話料金 |
| | 交通費 | 85,335 円 | 移動交通費実費分 |
| | 印刷費 | 910,736 円 | 選挙葉書、ポスター等印刷費、等。 |
| | 広告費 | 320,500 円 | 選挙事務所看板、宣伝車看板、等。 |
| | 文具費 | 3,425 円 | 事務用品費 |
| | 食糧費 | 251,923 円 | 弁当代、茶菓代等実費 |
| | 宿泊費 | 79,400 円 | のべ12泊分。 |
| | 雑費 | 26,413 円 | カイロ、のどスプレー等雑費。 |
| | 計 | 2,709,540 円 | |

このニュースはご自宅にも無料で配送しております。毎月確実にご覧になりたい方は、ほりぞえ健事務所までご連絡ください。(電話：855-1479)

連載コラム 川崎と高津の地名 (No.22) 参考：上田恒三著「高津村風土記稿」日本地名研究所編「川崎の町名」

「下作延」の由来

この地には縄文時代前期の住居跡や弥生時代の大きな集落跡もあり、古くから拓かれた土地です。鎌倉時代初期には、稲毛三郎重成が支配した作延城が、現在の緑ヶ丘霊園の場所にあったと伝承されています。慶長2年(1697年)に、それまでの作延郷が分離して上・下作延村の2村に分かれたといわれています。上・下は平瀬川の流れを基準としたものと思われる。作延の地名の由来は諸説あり、サクを耕作の意味として捉える説(耕作地が平瀬川の谷に長く延びてある、耕作地を山間にまで延ばした、等)、サクを谷間を意

味すると捉える説(平瀬川の谷間が延びている地、多摩川の沖積低地に対して丘陵山間の谷戸が発達してきた地、等)があります。また、この他に、「作」も「延」も縁起の良い字のため、中世に荘園地名となった、という説もあります。江戸時代初期に旗本領となりましたが、元禄年間に一部が天領となって明治維新を迎えました。



政治資金ご寄附のお願い

地元から日本改革を実現するために、ご支援賜りますよう、お願い申し上げます。

「ほりぞえ健後援会」宛

郵便振替：高津郵便局 口座00270-1-24169
銀行振替：川崎信用金庫 高津支店 普通0796294

先般行われた川崎市議会議員選挙で、堀添議員は二期目の当選をされました。公職選挙法の規制により、お礼等を述べたことはできませんが、ご支援いただいたことに心から感謝しております。▼選挙期間中はもっぱら事務所にていたため、街頭における選挙活動を直接見ることができませんでしたが、堀添議員の街頭演説において、ほとんどの自分自身の名前を言っていないのが気になった。一回の演説は大体十五分程度だが、その十五分の間では「川崎市議会議員候補の堀添健です」と言ったのは、最初と最後の二回に留まる。一般的に街頭演説においては、いかに自然に演説の中に名前を織り込むかが重要と言われる。▼「一分間あたり二、三回入られることも珍しい」といふことは、毎晩行われた選対会議においても議論となつた。「党派としてまとまっても政策を掲げることの意味があるのだからこれを「良い」という意見と、「いくらか政策中心の選挙とはいえず、少なくとも名前を覚えてもらわなければいけないのでは」という意見と、大きく分かれた。どちらの間違つてはいない。▼おそろく、名前の連呼によって得られる票の数は、政策だけを伝えることで得られる票の数よりも多いだろう。しかし、政策を伝えることで得られる票こそが、たとえ数は少なかったとしても、これからの政治改革のために力となるのも事実である。問題は、名前を連呼しないことによる減る票の数が、落選につながるほどの影響となるか、である。開票が終わるまで、本当にこれで良かったのか、もっと名前を連呼するよう強く言えばよかったのではないかと悩んだ。▼結果的に、堀添議員は前回よりも得票数を増やした。二期目の当選を果たした。ほっとした。とともに、有権者を疑ったことを後悔(事務局ゆ)